

# Flash Eyes

観戦ガイド1月22日号

天皇杯・皇后杯

平成29年度

全日本卓球選手権大会

(一般・ジュニアの部)

東京体育館

平成30年1月15日(月)

～1月21日(日)

の勝算は50%とっていました。簡単に勝たせてもらえる相手ではありませんが、昨年から強化しているフォアハンドがよく入り、1ゲーム目を11-9で取ることができたので勢いに乗ることができました。また、勝負どころでは、カウンターやバックハンドが決まりました。優勝が決まった時は、うれしさのあまり父親に抱きつきました。あこがれの水谷選手は9回優勝していますが、これからは自分の時代にしていきたいです。今年チームカップや、世界選手権で金メダルが取れるように、チームに貢献したいです。

張本 智和  
JOCエリート  
アカデミー・東京

4(11-9,11-5,8-11,11-2,6-11,11-5)2

水谷 隼  
木下グループ・東京

# 全日本 百花繚乱

1月21日の全日本選手権最終日は、早朝から6,000人を超える観客が集まる中、男女シングルの準決勝・決勝が行われた。男子シングルは、ジュニアを制した14歳張本智和が、10回目の優勝記録に挑む水谷隼を終始圧倒し、史上最年少での初優勝を飾った。女子シングルは、今大会ダブルス2冠の伊藤美誠が、準決勝で王座奪還に燃える石川佳純を撃破。決勝では、平野美宇との17歳対決を制し初優勝、女子史上3人目の3冠を達成した。百花繚乱の全日本、来年の大阪では誰が栄光の花を咲かせるのか。

張本智和選手  
(史上最年少優勝)  
水谷選手には昨年の世界選手権で勝つことができましたが、この全日本



史上最年少優勝  
張本智和

伊藤美誠選手 (3冠達成)

とても嬉しいです。出るからには優勝したかったです。一戦一戦やりきることができたので、ミックスダブルス、女子ダブルス、女子シングルの3冠に繋がりました。決勝で戦った平野選手は、2年前の全日本準決勝で負けているので、今回の全日本で負けた借りを返すしかないと思っていました。出足から攻めて行った事が勝ちに繋がりました。3ゲームを先取したことで、4ゲーム目は、気持ちが緩んでしまいましたが、5ゲーム目は頭を切り換え、立て直すことができたので取ることができました。リオオリンピック後は調子が悪く、卓球人生の中でどん底でした。試合をするのが怖い時期もあり、プロツアーに出場しても初戦で敗退をしたこともありました。この事がきっかけとなり、自分の卓球を省エネ卓球からラリー戦でも得点できるように動き回る卓球へ変えました。多球練習を多く取り入れたので身体的にはとてもきつかったけど、楽しく行うことができました。今年開催されるチームカップ・世界選手権の団体戦を3人の女王で力を合わせてメダルを獲得し、東京オリンピックに繋げていきたいです。



3冠達成!  
伊藤美誠

伊藤 美誠  
スターズSC・大阪

4(11-7,11-9,11-2,5-11,11-6)1

平野 美宇

JOCエリートアカデミー/  
大原学園・東京